

あぐり情報

営農生活課
森永 諭



◎農薬情報 展着剤 ドライバー

今回は、農協で新たに取扱いを始めた展着剤「ドライバー」をご紹介します。



ドライバーは、植物原料由来の新しい高濡れ性展着剤です。農薬の効果を増強する物質を含んだ機能性展着剤となります。単なる濡れ性を高める一般的な展着剤とは大きく性能が異なり、作物への浸透、浸達性を持ち、薬液（有効成分）を積極的に作物に「浸み込ませる効果」があります。

■ドライバーの特徴

①作物への付着と濡れ
農薬散布時に薬液をはじいてしまうようなワックスの強い作物（ネギやキャベツ等）に対し、特に効果を発揮するように設計されています。散布した薬液をより確実に作物表面へ付着させ、広げる働きがあります。ネギの葉の写真で見られるように、ドライバーを添加することにより、作物表面に薬液がきれいに濡れ広がります。



ドライバー



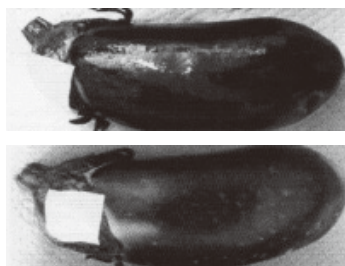
展着剤A



水

②すき間への濡れ広がり

ドライバーを添加することにより、作物の隙間にも素早く濡れ広がっていきます。



ドライバー添加
上：散布時
下：乾燥後



ドライバー無添加
上：散布時
下：乾燥後

③汚れの軽減

薬液が乾いた後に斑点状に跡が残る汚れが問題となる場合で、農薬散布による汚れを軽減します。

④乾きの早さ

ドライバーを添加した薬液は素早く濡れ広がるため、散布した薬液の乾きが早まります。

⑤作物への安全性

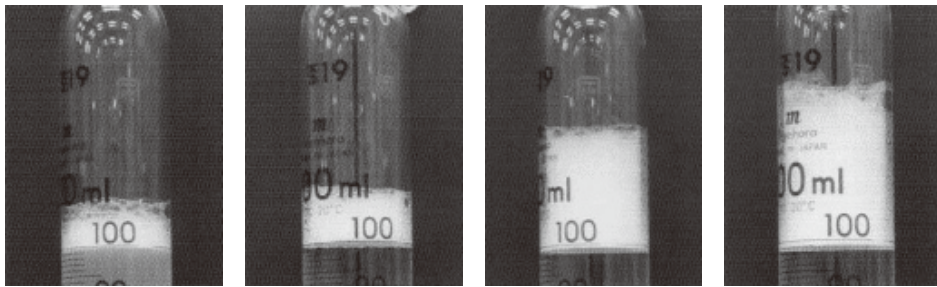
写真はドライバーの作物に対する安全性を確認するために、通常の使用倍率よりも高い濃度で散布した様子です。高濡れ性の展着剤で見られることのある焼けなどの症状が、通常使用量の4倍量の処理でも見られず薬害を引き起こしにくい展着剤です。



ドライバー 4倍量



B展着剤 4倍量



ドライバー

A展着剤

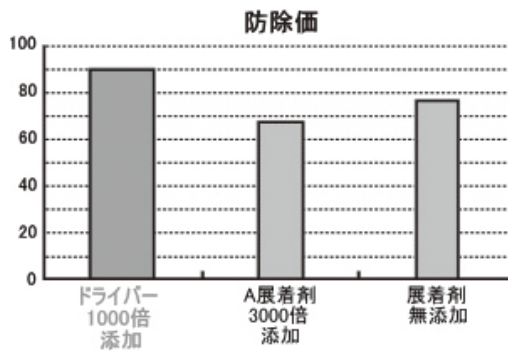
B展着剤

C展着剤

⑥泡立ちの軽減
 通常、濡れ性の展着剤で問題となる、薬液調製時の泡立ちを低く抑えます。

⑦有用昆虫への影響
 セイヨウミツバチやクロマルハナバチ、チリカブリダニといった有用昆虫への悪影響も少なく、安心して使っていただくことができます。

■圃場での効果（キャベツの黒腐病に対する効果）



■適用作物及び使用方法
 ドライバーの登録内容は下記の適用表の通りです。

【展着剤 ドライバー】

規格…500ml

価格…1,606円(税込)

(2020年3月1日現在)

※展着剤の使い方

薬液を作る時には混ぜる順番があります。水を張ったタンクに、一般的には界面活性剤の多い順に混ぜていきます。初めに展着剤を入れ、製剤を水中で分散させやすくします。二番目に乳剤を入れます。乳剤は油状ですが、薬剤の中に界面活性剤が入っていることで混ざりやすくなっています。最後にフロアブル剤や水和剤を入れます。展着剤の効果を最大限に引き出すには、薬剤を散布する作物の性状や状況を把握することが重要です。

※農薬使用上の注意

農薬を使用する際は容器などに記載されたラベルの内容に従って正しく使用しましょう。農薬システムの使用回数に注意し、ローテーション防除を心がけましょう。

作物名	適用病害虫/雑草	希釈倍数・使用量	使用方法	適用農薬名
野菜類	設定なし	2~10ml/散布液10L (1000~5000倍)	添加	殺虫剤、殺菌剤
いも類	設定なし	2~10ml/散布液10L (1000~5000倍)	添加	殺虫剤、殺菌剤
てんさい	設定なし	2~10ml/散布液10L (1000~5000倍)	添加	殺虫剤、殺菌剤
豆類(種実)	設定なし	2~10ml/散布液10L (1000~5000倍)	添加	殺虫剤、殺菌剤
花き類・観葉植物	設定なし	2~10ml/散布液10L (1000~5000倍)	添加	殺虫剤、殺菌剤

※2020年3月現在

